

# 花咲かだより

題字 森 キヨさん

社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム 山科苑  
デイサービスセンター 山科苑  
居宅介護支援センター 山科苑

京都市山科区大塚野溝町3番地

TEL (075) 593 0800

[ryokuju@agate.plala.or.jp](mailto:ryokuju@agate.plala.or.jp)

<http://www3.plala.or.jp/ryokuju/>

緑寿会のホームページからも  
花咲かだよりが見られます



秋冷の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。  
日頃より当法人運営にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度の法人事業であります「空調機取替え工事」が先般の八月末日に無事に完了致しました。約ひと月半の工事期間中には何かとご迷惑をおかけ致しましたが、皆様のご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげさまでちまして、故障などがありました空調機が、リニューアルされ快適な夏を過ごすことができました。なお、この工事は「財団法人 車両競技公益資金記念財団」様より助成金を頂戴し、実施することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

巷では例年の季節型インフルエンザに加え、新型インフルエンザが流行しております。当施設におきましても感染症等の予防に努めるべく、玄関入り口の下駄箱付近に手指消毒用の機械を設置しております。ご面会など当施設へご来苑の際は、恐れ入りますが入館時に手指消毒をお願いいたします。(機械に手を差し入れていただきますと、自動的に消毒液が噴霧されます。) また、マスクもご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

朝晩が大変寒い季節となっております。秋を感じる間もなく冬がすぐに来たようです。皆様におかれましては体調管理にはくれぐれもご注意くださいませ。

平成二十二年一月吉日

施設長 吉澤 英樹



空調機取替え工事



改修前



改修後

一括集中リモコンにて館内の温度を管理できるようにしました。



各フロアと各居室

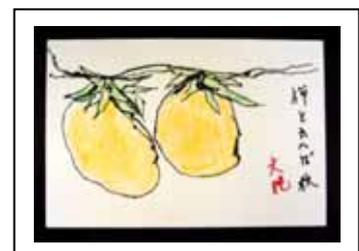
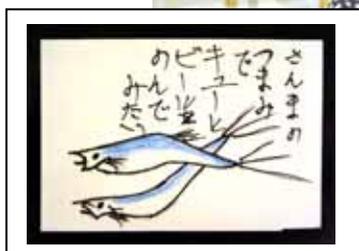
インフルエンザ対策



玄関にパンフレットと消毒器を設置し予防喚起を行っています。



# DS デイサービスセンター



今回は月に2週間行っている選択  
レクの中の「**絵手紙クラブ**」につい  
てご紹介します。  
絵を描くのが始めての方、昔描い  
ておられた方、それぞれですが皆様  
とても楽しんでおられます。  
絵手紙は絵を描くのも楽しいです  
が、そこに今の自分の気持ちや想い、  
伝えたい事を書けるのも魅力だと思  
います

絵手紙を描く際の決め事があ  
ります。  
一、「上手に描(書)かない」  
二、「大きく描(書)く」  
三、「思ったことを書く」

ご利用者のお一人に、「はい」「違います」「そうです」と答えてくださるのですが、ご自分の事をなかなか話してくださらない方がおられます。  
あるとき、「今楽しいことは何ですか」と紙とペンをお渡ししたところ、自分の気持ちをいっぱい書いてくださいました。読みにくい字でした。想像力を必要とする文でした。でもその方が、どれほどご自分の娘さんの事を愛しているか、ご自分が何をしなければならないかと思っておられるかが、痛いほど伝わってきました。顔や言葉に出さないけれど、心の内ではこんなに深い想いを背負っておられる。あらためて文字の大切さに気付かせていただきました。  
(感動のあまり、その方に抱きついて叱られた職員もいたくらいでした！)

## 創立記念大運動会



6月14日創立記念にて大運動会を開催。ご利用者は毎年変わる新しい競技で汗を流し、職員は恒例の応援合戦、紅組はよさこいソーラン節、白組は桃太郎の寸劇で熱く必勝を祈願しました。ご家族も多数参加され、最後はみんなで記念写真。



## 祇園祭



京都で暮らすと7月に入れば祇園祭の話題が出てきます。それは今年も見に行こうと出発。銚子の上にあがれるとのことであがってみました。中では普段は見られないお宝を特別に見せてもらえた。



# 行事

## 敬老の日お祝い会



敬老の日お祝い会  
今年辰馬流真澄会の方々による創作舞踊でのお祝いに、ご利用者ご家族、職員ともに大盛況。  
昼食は敬老の日特製お祝い御膳と豪華刺身の板盛りを堪能。  
山科苑からの記念品、今年は3階はご利用者の名前刺繍入りの風呂敷、2階は手作りの表札が贈られました。

## 遠足



ぶらり南京町食べ歩き 清水寺へ参拝



清水寺にてお札を購入 竜王へぶどう狩り



映画村で白馬に出会う

初秋のすがすがしい風に当たろうと、各地へ遠足に出かけています。

## ご利用者と一緒に遊ぶ ご利用者の笑顔

# 施

設の中で日々を過ごしている方にとって楽しみとなる事や気分転換となる事はとても大切で、「次は何がしたいなあ」「行きたいなあ」など活力が生まれてくるきっかけになります。それはご利用者だけが楽しいと感じていなければならない、職員も同じように、それ以上に楽しんでこそご利用者にもより楽しんでもらえるのではないのでしょうか。では、いつ、どこで、どうやって、ご利用者に楽しんでもらう事ができるのでしょうか。

外出行事、夏祭り、運動会等、季節ごとの行事でご利用者と共に楽しむ。行事等では職員も思いっきり楽しんでる姿を見て、より楽しんでくださるご利用者も多くいます。笑顔で楽しそうにされているご利用者を見るとこちらも楽しくなり、自然と笑顔になります。

季節ごとの行事だけでなく普段の会話や日常の中にもご利用者と遊ぶ・楽しむ事のできる場はたくさんあります。体操を一緒にしたり、一緒に歌を歌ったり、会話をしたり...と、ちょっとした時間を一緒に過ごし、楽しむことです。

山科苑では本年度から生きがいプロジェクトを立ち上げ、ご利用者の生きがい作りを行っています。たとえば料理や華道・書道といったクラブ活動にやりがいを持って参加することで、ご利用者が楽しんで、笑顔でいられる。また、職員もその時間を一緒に活動に参加し笑顔で過ごせる時を増やそうと考えています。

私もこれからもっとたくさんご利用者のいい笑顔に出会えることができる介護士になっていきたいと思っています。

文 饗庭 恵

## 生きがいプロジェクト

今年度特養の目標に「生きがい」を掲げ、実現するきっかけづくりとしてプロジェクトを発足する事となりました。ご利用者が一人一人の楽しみを職員と一緒に探して頂けて貰えたらと活動しています。

9月下旬にご利用者の現在の気持ちを知るために「現在の生活や感じている事、今後の希望」等のアンケートを実施しました。

結果から「今後行いたいと思う活動」として数人の方が希望された内容をクラブ活動として立ち上げました。活動としてはまだまだ未成熟ですが今後一人一人の「やってみたい」と感じている気持ちに対応できるように視野を広めたいと思っています。

ご利用者の生きる活力となる継続的な楽しみを実現していく。そして、我々も一緒に生きがいを探していけたらと思っています。

生きがいプロジェクト 大野 恵

## 七夕に願いを



七夕さんに願いごとをするとかなう。昔からそう信じられてきた定番の催し。今年も願いをこめて短冊に各自書き込んでいく。無病息災、家内安全、健康祈願、と自身の健康や家族に対しての願いが多数を占めるが、なかには「孫にお嫁さんがきますように」なども。

## 西念寺保育園と七夕



毎年たくさんの七夕飾りと大きな笹をもって来苑。ご利用者と一緒に笹に飾りつけをし、普段がんばって覚えてきた歌などを歌ってくれ、和やかな雰囲気になります。年に1度のこのふれあい訪問にご利用者は満面の笑みを浮かべて、また来てねと次回を楽しみに。

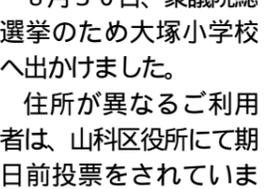
## 日々の暮らし

### 居酒屋でお好み焼き



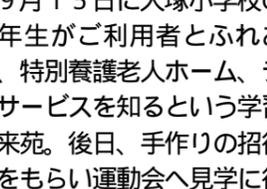
恒例となった居酒屋。今回もご利用者のリクエストがメニューに。職員が居酒屋のマスターになり、特製のお好み焼きを手際よく焼いていく。のはずが、意外と難しく気がつけばご利用者に焼いてもらっていたことも。そんなこんなを酒の肴に宴会は盛り上がり、夜更けまで笑い声が聞こえています。

## 衆議院選挙



8月30日、衆議院総選挙のため大塚小学校へ出かけました。住所が異なるご利用者は、山科区役所にて期日前投票をされています。

## 大塚小学校来苑



9月15日に大塚小学校の3年生がご利用者とふれあい、特別養護老人ホーム、デイサービスを知るという学習で来苑。後日、手作りの招待状をもらい運動会へ見学に行きました。

# 受診

毎週水曜日、音羽病院呼吸器科の日置先生に回診して頂いています。  
 心臓や眼科など専門的な外来へ定期受診のある方は、看護師またはスタッフの付き添いにて音羽病院に受診して頂いております。  
 夜間緊急の場合、看護師不在の時でも自宅待機の体制(オンコール体制)をとっており、必要に応じて電話で状態の相談、及び訪問、受診の指示を出しています。

# ナースのお仕事を ちよっぴり紹介!

# 医務室 だより



運動会にも参加します

# 経管栄養

当苑では、現在4名の方が経管栄養を実施されています。2名は経鼻栄養、他の2名は胃瘻を増設されています。口から食べることが難しくなった方でも、安心して苑での生活を続ける事ができるように心がけております。  
 特に経鼻栄養の方は誤嚥や注入食の逆流による窒息の危険が高いため、介護士とともに協力して安全に注入が行われているかチェックしています。

# 処置

入浴時はご利用者の皮膚状態や傷がないかをチェックし、必要に応じてガーゼ保護や軟膏を塗るなどの処置を行っています。  
 入浴以外のときも居室へ訪問し、長期入院でおこる褥瘡や潰瘍、表皮剥離などの皮膚疾患は、皮膚科へ受診し医師の指示のもと処方して頂いた外用薬にて処置を継続しております。  
 また、点眼や保湿クリームを塗るなど、ご利用者様がご自身ではできないものにもお手伝いをさせていただきます。

# 健康相談

医務室では利用者さんはもとより、職員の方々の健康相談も承っております。身体的な事ばかりでなく、不安やストレス等の精神的な事まで、幅広く相談に応じております。是非お越しください。



# 介護の連携

当苑は常勤医師が不在のため、スタッフは急変時に適切に対応できる知識と、身体の異常をいち早く察知する観察眼を身に付ける必要があります。  
 そのために、利用者さんと深く関わっているスタッフへの助言や指導を行い、何かあればいつでも相談できるようにしています。  
 また、スタッフから情報収集を行い、ご利用者の普段の様子を知る事を日頃から大切にしています。



# 実習生指導

介護福祉士実習生への医務実習を行っています。特別養護老人ホームの医療について理解を深めてもらえるように、一緒にフロアを回って処置などを見学してもらい、最後に話し合いの場を持ち疑問が残らないようにしています。



## 居宅介護支援センターだより



今年4月に要介護認定基準が改定されました。要介護認定のバラツキを是正し、より公正で的確な認定結果が判定されるようにと調査票にはケアマネージャの判断基準のばらつきを平準化し、ご利用者の「みたまま」の実態のみで選択肢を選ぶことになったのです。しかし、実施されてはどなく要介護状態区分等が軽度に変更され、これまで受けていた介護サービスが受けられなくなるのではないかと懸念が利用者からもケアマネージャからも多く聞かれました。これを受けて、国は認定基準の見直しの影響について検証が行われるとともに、その見直しの期間中に更新申請者が希望する場合には以前と同じ要介護度によるサービス利用ができるよう経過措置（9月末で終了しています）が設けられました。そして10月から検証の結果をもとに修正された要介護認定方法での調査が始まっています。判断に間違いが出ないように再び法人内で勉強会を行い、新しい認定調査員テキスト片手に調査票に向かう日々ですが一体この半年間はなんだったんだろう？とついついぼやいてしまいます。1年もたたないうちに2回も変わるなんて。準備する側もきっと大変だったでしょうね。

介護保険制度において認定結果はサービスを受ける側にとって全ての基準となるものです。それがブレてしまっただけではどうしようもありません。じゃあ公正で的確な認定結果って一体なんなのかしら。介護保険制度ってムズカシイ...

文・ケアマネジャー 中村里美

迷走する認定調査

## “ 思 案 想 論 ” 副施設長より



『般若心経の会』なる集いを昨年春より毎月初めに行なっています。

この会は利用者の誘いで無宗教の小生と利用者さん3名で仏間にて般若心経の読経や信仰にまつわる談話がはじまりです。会を重ねるごとに参加者も膨れ上がり、現在では20名を超えて仏間の前はいっぱいです。改めてご利用者の関心の深さに敬服するとともに皆さんの視線を一身にあり、冷や汗をかきながら恐縮しています。依頼のあった利用者の叩く木魚の音に合わせ、みんなで般若心経を唱和しています。その後般若心経について解説をしながら、時には般若心経の絵本の朗読や般若心経の中の多い漢字を探してみたり、「無」と「空」についての話、信仰についてなどご利用者と自由に語り合っています。認知症のあるご利用者も周囲の雰囲気から何かを感じ取られるのか心静かに話を聞いておられます。事前準備もなくその時々の流れで自然にテーマが決まり、ご利用者との純なライブトークは本当にいろいろなことを学ばせて頂いています。

さて、この会に来られるご利用者からは「心がすっきりとします」とか「心が落ち着きます」などの感想がよく聞かれます。「心がすっきりします」とはどういうことなのでしょう。日常的な自己は、非日常の世界の中に飛び込まれて改めて自己を省みる機会を与えられます。般若心経を唱えたり、そのような会合に参加する体験を通して、利己的な現世に埋没している自己を再確認し、とらわれのないおらかな心の世界へ開放することであり、そのことを実感することで「心がすっきりします」と語ることができるのだろうか。客体化された普段の自分（即自存在）に対してそれを冷静に眺めている自分（対自存在）。自己とは自らを対象化することで常に塗り替えることのできる可能性を持った存在です。自己の在り方はその意味で有るものでもなく、無いものでもないという「空」の概念に通じるところがあるように思えます。

コミュニケーションでは相手の目を見ることが大切といえます。目を見るときは眼球や瞳孔をみるのではなく、その人の意識の向かっているもの、意識の志向性に焦点を合わせることといえます。私自身の見ている（あるいは見ようとしている）世界から、その人の見ている視線に焦点を移動することであり、“傾聴する”とは、現実にとらわれた自己を冷静に直視することができる“もう一人の可能性を持った自己”を自ら再発見することを促す援助です。般若心経の会はそのような援助のあり方を思案させてくれる集いでもあります。

文・副施設長 岸田 光彦

「般若心経の会」について



辰馬流眞澄会の皆様



社交ダンスの皆様



楽しいひととき  
ありがとうございました。

歌声サークルが始まりました



大西先生より、老人ホームでボランティアをしてみたいんですとのお話から実現しました。歌声サークルの日には昔懐かしい曲を歌う楽しそうな歌声が聞こえてきます。



天理教鼓笛隊の皆様



洛声会の皆様



こども空手の皆様



寄贈

- \*株式会社 朱常分店 様
- \*京都の街にきもの姿を増やす会 様
- \*有限会社 中央プロパングス商会 様
- \*株式会社 ニック 様
- \*多田 妙子 様 \*杉本 秀雄 様
- \*富田 秀三 様 \*中野 栄三 様

ボランティア様 ご紹介

- \*西念寺保育園の皆様
- \*歌声サークル/大西いつ子 様
- \*長唄慰問/洛声会の皆様
- \*フロア生け花/松井ちづる 様
- \*こども空手慰問/笑誠会 様
- \*デイサービスボランティア  
澤 信子 様、鈴木 啓子 様、谷口 寛貴 様
- \*3階フロアボランティア/石野 義子 様
- \*特養音楽療法/音の風 様  
音楽療法デイサービス/越田 民代 様、松永 裕子 様

実習生受け入れ(7月~12月)  
株式会社ユメコム、山科ユースアクション、  
日本メディカル福祉専門学校、龍谷大学  
京都福祉専門学校、聖母女学院短期大学  
華頂短期大学、大塚小学校体験学習

皆様のご芳情に厚くお礼申し上げます。今後とも山科苑への  
理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

編集後記

9月にはいり、様々な学校から実習生が来られています。初めはとても緊張しながら利用者の方々と接していますが、少しずつ関係を築かれつつ自然な雰囲気の中で接していただけます。時には職員が気づかないような利用者的一面をみつけれ、職員にとっても新たな気づきとなることもあり、我々にとってもいい刺激となつています。実際私自身も、実習生が利用者との関係構築に自然な笑顔で接しているのを

見せていただく、日々の業務の中で忘れがちな初心の頃の気持ちを思い出すきっかけとなっています。世間では介護の現場の大変さばかりがクローズアップされ、不安や戸惑いを強く感じながら実習に臨まれる方もおられると思います。このよつな中で、介護の仕事に志し、縁があつて当面でも実習をされることとなつた実習生が、介護の仕事ならではのやりがいや楽しさといった魅力を感じていただけよう努めていきたい関係構築に自然な笑顔で接しているのを

文 富前 収 覧

相談・苦情受付連絡先  
京都市山科区大塚野溝町3番地  
緑寿会 山科苑  
(075) 5933 0804

苦情解決責任者  
施設長 吉澤 英樹  
相談・苦情受付窓口 副施設長 岸田 光彦

花咲かだより 71号 深秋号 平成27年11月1日  
発行所/社会福祉法人 緑寿会  
特別養護老人ホーム  
デイサービスセンター  
居宅介護支援センター  
発行担当/山科苑広報委員会  
広報委員/中村里美、安富友規、多岐ゆみ、  
響庭恵、中谷博司、宮前収覧